

1. 課題

生活発表会に向けて——これだけは押さえない、を考える——

2. 内容

- ・子どもたちの遊びの中での非認知的な育ちをふまえて、認知的な育ちへの願いを持つ。
- ・生活発表会に向けて具体的にどう進めるのか、ヒントを得る。

3. 研修の流れ 120 分

(1) イン트로：今日の保育をみて松永から感想と宿題のフィードバック

①今日の保育の写真を見ながら講師から感想 10 分

②宿題フィードバック 10 分

星置の地域調べ／片付け…ピックアップしてコメント返す

(2) 音楽祭の反省についてコメント。前回研修についての補足。 5 分

(3) 生活発表会に向けて、これだけは押さえない、を考える目的について。 5 分

(4) 実践研からのメッセージを読もう 15 分

(5) 話し合い これだけは押さえない、を考えてみる

学年ごとのグループに分かれる。

①宿題のマングラートを見あいながら、どんな物語が子どもたちにあうか？考えてみる。

25 分→後日、「絵本の庭」等で調べてみる。 ※ワークシート 1

②3 歳・4 歳・5 歳でこれだけは押さえない、を形にしてみる。 30 分

※ワークシート 2

物語面で

音楽面で

美術面で（衣装、背景、小道具、大道具）

身体表現面で

(6) (5) ②について、各グループから発表 15 分

(7) 3 学年のバランスをまとめる 20 分

見えてきた方向性、課題として残ることの確認

4. 参考文献 メディア

- ・「やっぱりそうだよね」 DVD

<http://www.yescom.sakura.ne.jp/>

幼稚園生活最後の 5 歳児 3 学期。子どもたちは劇や歌を発表する生活発表会の準備を始める。どんな劇にするか、背景や衣装をどうするか。この映像には、それまで学んだ経験を生かしながら友達と協力して活動を豊かに展開しようとする幼児たちの姿と、幼児同士の心のつながりのある温かい学級集団を育てようとする教師の姿が映し出されています。

河邊先生「今年すぐにこの状態を実現するのは正直難しいかも。でも、これから先のビジョンとしてみるといいと思う」

・片付け関連の書籍

「魔法の声かけで子どもが自分で動き出す！—3歳からできるお片付け週間—」伊藤裕実 日本実業出版社
「子どもと一緒にたのしく—おかたづけ育、はじめました。—」Emi 大和書房

この2冊は、ふつうの家庭のお母さんが、子ども自身が片付けやすくなるように自分の家を工夫している方法を紹介しています。子ども自身が物を整理し、選別し、何が大事かどうしたら大事にできるかを考える。すべてが保育室に当てはまるわけではないのですが、取り入れられる考えもあるので、みてみてください。作者たちは、「保育室の環境をまねてます」、と言っているのですが、逆にこっちが参考になるところもあります！
上の方が、わりと理論的。下の方が、実践的なところが多かったです。